

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	コンピュータシステム			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成			実務授業の有無	無					
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	78	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験の出題範囲のうち、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、システム構成、ネットワーク、データベースなどを効率よく体系的に学習します。コンピュータ内部での情報表現方法や、コンピュータを構成する要素について理解を深めることで、エンジニアとしての基礎力を身につけ、今後の学習の土台となる知識を習得します。									
学習目標 (到達目標)	基本情報技術者試験の出題範囲のコンピュータシステムに関する問題が理解できる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コンピュータ概論 (ウイネット)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	コンピュータの基礎知識			指定教科書P2 ～ P31						
2	数値の表現			指定教科書P32 ～ P59						
3	数値の表現			指定教科書P60 ～ P83						
4	コンピュータ構成要素			指定教科書P84 ～ P115						
5	コンピュータ構成要素			指定教科書P116 ～ P139						
6	基礎理論			指定教科書P140 ～ P155						
7	ソフトウェア			指定教科書P156 ～ P179						
8	システム構成要素			指定教科書P180 ～ P213						
9	マルチメディア			指定教科書P214 ～ P219						
10	マルチメディア			指定教科書P220 ～ P225						
11	ネットワーク			指定教科書P226 ～ P271						
12	データベース			指定教科書P272 ～ P302						
13	まとめ			プリント						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
期末試験結果70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	データベース/ネットワーク			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	渡辺 雄太		実務授業の有無	有						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	52	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験の出題範囲のうち、ネットワークとデータ構造を体系的に学習します。LANやWANで利用される各種技術について学ぶことでネットワークの必要性を認識すると同時に、現在の大規模システムには欠かせない要素であるデータベースの概念から基礎理論、操作方法について講義形式で幅広く知識を習得します。									
学習目標 (到達目標)	基本情報技術者試験の出題範囲のデータベース/ネットワークに関する問題が理解できる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コンピュータ概論(ウイネット)、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	OSI参照モデルとTCP/IP階層モデル			指定教科書、及び追加配布資料						
2	物理層を理解			指定教科書、及び追加配布資料						
3	データリンク層を理解			指定教科書、及び追加配布資料						
4	ネットワーク層を理解			指定教科書、及び追加配布資料						
5	IPアドレスとサブネットマスク			指定教科書、及び追加配布資料						
6	トランスポート層を理解			指定教科書、及び追加配布資料						
7	5～7層とプロトコルを覚える			指定教科書、及び追加配布資料						
8	ネットワークコマンドを使用(実習)			コマンドプロンプトを使用し、pingなどのコマンドを実際に使用してネットワークを体感する						
9	データベースの仕組みと正規化			指定教科書(P298～P302)、及び追加配布資料						
10	SQL文を学ぼう①(実習)			指定教科書(P277～P283)、及び追加配布資料						
11	SQL文を学ぼう②(実習)			指定教科書(P284～P290)、及び追加配布資料						
12	SQL文を学ぼう③(実習)			指定教科書(P291～P292)、及び追加配布資料						
13	ACCESSでSQLクエリ作成に挑戦(実習)			配布したACCESSのデータベースから、指定したデータを取り出す実習						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
期末試験結果70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴				システム開発従事：5年						

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Excel			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	26	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	○		△		
授業概要、目的、授業の進め方	MOS Excel試験の出題範囲のうち、表計算アプリケーションの基本的な操作から、応用的な利用方法までを、模擬試験問題を用いながら段階的に学習します。ビジネスシーンでは欠かせないツールとなった表計算アプリケーションの活用方法を学ぶことで、今後、課題を解決する上での重要なツールとして使いこなせるレベルまで習熟を目指します。									
学習目標 (到達目標)	MOS Excel 2016 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	MOS Excel2016 対策テキスト&問題集 (FOM出版)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	表計算とは、模擬問題インストール			指定教科書P7 ~ P25						
2	ワークシートやブックの作成と管理			指定教科書P27 ~ P60						
3	ワークシートやブックの作成と管理			指定教科書P61 ~ P95						
4	セルやセル範囲のデータの管理			指定教科書P97 ~ P126						
5	セルやセル範囲のデータの管理			指定教科書P127 ~ P149						
6	テーブルの作成			指定教科書P151 ~ P160						
7	テーブルの作成			指定教科書P161 ~ P171						
8	数式や関数を使用した演算の実行			指定教科書P173 ~ P184						
9	数式や関数を使用した演算の実行			指定教科書P185 ~ P199						
10	グラフやオブジェクトの作成			指定教科書P201 ~ P230						
11	グラフやオブジェクトの作成			指定教科書P231 ~ P249						
12	模擬問題			指定教科書P265 ~ P294						
13	模擬問題			指定教科書P295 ~ P319						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	標準化と経営			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	26	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	<input type="radio"/>				
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験の出題範囲のうち、システム開発、セキュリティ、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略、企業と法務などを体系的に学習します。 プログラマを統括するシステムエンジニアやプロジェクトマネージャーとしての立場を理解することで、管理者の目線に立ったエンジニアとなれるよう学習をします。									
学習目標 (到達目標)	基本情報技術者試験の出題範囲の標準化と経営に関する問題が理解できる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	システム開発と情報化（ウイネット）、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	プロジェクトの日程計画			指定教科書P142～P149						
2	プロジェクトマネジメント			指定教科書P150～P164						
3	サービスマネジメント			指定教科書P166～P173						
4	システム監査			指定教科書P174～P184						
5	システム戦略			指定教科書186～P191						
6	システム企画			指定教科書P192～P202						
7	経営戦略マネジメント			指定教科書P204～P212						
8	技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ			指定教科書P213～P226						
9	経営組織論/OR・IE			指定教科書P228～P253						
10	品質管理			指定教科書P254～P272						
11	会計・財務			指定教科書P273～P286						
12	法務			指定教科書P287～P295						
13	標準化			指定教科書P296～P309						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
期末試験結果70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Java			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無	有						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	104	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	Javaプログラミングの環境構築から、プログラムの基本理論、発展的な問題解決の手法を学習します。また、サンプルプログラムをもとにキャラクタ・ユーザ・インターフェース（CUI）ベースの簡易的なプログラムを開発しながら、プログラミングで多用される各種アルゴリズムや変数・定数・配列といった基礎理論を学びます。									
学習目標 (到達目標)	サーティファイJavaプログラミング能力認定試験の合格。 Java言語を使用したアプリケーションの開発が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スッキリわかるJava入門（インプレス）、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	Javaの環境設定・プログラムの書き方			指定教科書P1～P57、別紙環境設定資料						
2	式と演算子			指定教科書P59～P95						
3	条件分岐と繰り返し			指定教科書P97～P134						
4	配列			指定教科書P137～P167						
5	メソッド			指定教科書P169～P206						
6	複数のクラスを用いた開発			指定教科書P221～P263						
7	オブジェクト指向とは			指定教科書P269～P297						
8	インスタンスとクラス			指定教科書P299～P328						
9	さまざまなクラス機構			指定教科書P331～P372						
10	カプセル化			指定教科書P373～P402						
11	継承とは			指定教科書P407～P494						
12	多態性とは			指定教科書P497～P528						
13	例外処理			指定教科書P561～P598						
14	各章での課題プログラム開発			教員作成資料						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
課題＋期末課題70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：3年								

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	アルゴリズム／システム開発			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	52	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験の出題範囲のうち、アルゴリズムとデータ構造を体系的に学習します。流れ図を用いたアルゴリズムの基本パターンを学び、配列操作や探索処理、整列処理など、伝統的アルゴリズムに習熟することで、プログラマとして大切な問題解決能力を養います。また、基本情報技術者試験に出題される擬似言語についても演習を通して習得します。									
学習目標 (到達目標)	基本情報技術者試験の出題範囲のアルゴリズム／システム開発に関する問題が理解できる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アルゴリズムとデータ構造（ウイネット）、システム開発と情報化（ウイネット）									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	アルゴリズム入門			指定教科書P2 ～ P13						
2	流れ図の基本パターン			指定教科書P14 ～ P31						
3	データ構造			指定教科書P32 ～ P71						
4	繰り返し処理			指定教科書P72 ～ P83						
5	整数の計算			指定教科書P84 ～ P101						
6	配列操作			指定教科書P102 ～ P117						
7	擬似言語の基本パターン			指定教科書P118 ～ P139						
8	擬似言語によるデータ構造			指定教科書P140 ～ P161						
9	探索処理			指定教科書P162 ～ P197						
10	整列処理			指定教科書P198 ～ P235						
11	ファイル処理			指定教科書P236 ～ P257						
12	文字列操作／ビット操作			指定教科書P258 ～ P288						
13	開発技術			指定教科書P2 ～ P89						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
期末試験結果70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	国家試験対策(確認テスト)			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	13	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	必須問題(情報セキュリティ,擬似言語)及び選択問題(テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系)で、出題頻度が高いテーマの問題演習で解法のテクニックを身につけ、応用力を養成します。また定期的に模擬試験を行い、その結果をフィードバックすることで自身の弱点分野や、補強すべき課題が見え、情報処理技術者試験に対する学習の目安となります。									
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	試験問題 (教員作成)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	情報セキュリティ			情報セキュリティ分野の試験を実施						
2	ハードウェア			ハードウェア分野の試験を実施						
3	ソフトウェア			ソフトウェア分野の試験を実施						
4	データベース			データベース分野の試験を実施						
5	ネットワーク			ネットワーク実施						
6	ソフトウェア設計			ソフトウェア設計分野の試験を実施						
7	マネジメント			マネジメント分野の試験を実施						
8	ストラテジ			ストラテジ分野の試験を実施						
9	データ構造及びアルゴリズム			データ構造及びアルゴリズム分野の試験を実施						
10	ソフトウェア開発 (表計算)			ソフトウェア開発 (表計算) 分野の試験を実施						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	秋期検定対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	81	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	各種ベンダー試験、ベンダーニュートラル試験の取得を目標にした対策授業です。CCNAやLPI-Cをはじめとして、Java検定や情報処理検定など、自身のキャリアパスと習熟度にあった検定の合格を目指します。過去問題をを用いた講義形式の他、Webトレーニング教材を併用して、試験範囲全体を総まとめ的に学習します。									
学習目標 (到達目標)	情報処理技術者能力認定試験 3級 情報処理技術者能力認定試験 2級一部									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コンピュータ概論（ウイネット）、情報処理検定過去問題集 2級、3級（ウイネット）									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	基礎理論			プリント資料						
2	コンピュータ構成要素			プリント資料						
3	システム構成要素			プリント資料						
4	ソフトウェア/ハードウェア			プリント資料						
5	マルチメディア			プリント資料						
6	データベース			プリント資料						
7	ネットワーク			プリント資料						
8	セキュリティ			プリント資料						
9	ビジネスインダストリ			プリント資料						
10	法務			プリント資料						
11	過去問題			過去問題集						
12	過去問題			過去問題集						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	秋期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			実務授業の有無	無					
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	170	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。									
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集 (ウイネット)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	情報セキュリティ			指定教科書P2～P30						
2	ハードウェア			指定教科書P36～P46						
3	ソフトウェア			指定教科書P50～P62						
4	データベース			指定教科書P68～P80						
5	ネットワーク			指定教科書P86～P98						
6	ソフトウェア設計			指定教科書P102～P118						
7	マネジメント			指定教科書P124～P138						
8	ストラテジ			指定教科書P144～P156						
9	データ構造及びアルゴリズム			指定教科書P160～P198						
10	ソフトウェア開発 (表計算)			指定教科書P284～P303						
11	模擬試験①			第1回模擬試験の実施						
12	模擬試験②			第2回模擬試験の実施						
13	模擬試験③			第3回模擬試験の実施						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										













②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	春期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			実務授業の有無	無					
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。									
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集 (ウイネット)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	情報セキュリティ			指定教科書P2～P30						
2	ハードウェア			指定教科書P36～P46						
3	ソフトウェア			指定教科書P50～P62						
4	データベース			指定教科書P68～P80						
5	ネットワーク			指定教科書P86～P98						
6	ソフトウェア設計			指定教科書P102～P118						
7	マネジメント			指定教科書P124～P138						
8	ストラテジ			指定教科書P144～P156						
9	データ構造及びアルゴリズム			指定教科書P160～P198						
10	ソフトウェア開発 (表計算)			指定教科書P284～P303						
11	模擬試験①			第1回模擬試験の実施						
12	模擬試験②			第2回模擬試験の実施						
13	模擬試験③			第3回模擬試験の実施						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	U-22プログラミングコンテスト			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無	有						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	96	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期			○		
授業概要、目的、授業の進め方	経済産業省/総務省/文部科学省が後援する日本最大規模のプログラミングコンテスト「U-22プログラミングコンテスト」に出品するプログラム作品を制作します。企画、仕様設計、プログラミング、テスト、フィードバックを繰り返し、個人またはグループで1つの作品を作り上げていきます。また、コンテスト入賞に向けて、魅力あるプレゼン資料の作成を行います。									
学習目標 (到達目標)	U-22プログラミングコンテストへの作品を応募する。 審査基準を考慮し、求められる機能を意識した作品制作が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	アイデア発想			実習（アイデア抽出）						
2	企画立案, 企画書作成			実習（企画書作成）						
3	仕様設計			実習（設計書作成）						
4	アルファバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
5	テストケース作成, デバッグ			実習（制作）						
6	アルファバージョン提出			定期報告						
7	ベータバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
8	テストケース作成, デバッグ			実習（制作）						
9	ベータバージョン提出			定期報告						
10	マスタバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
11	テストケース作成, デバッグ			実習（制作）						
12	マスタバージョン提出			定期報告						
13	PV制作			実習（制作）						
14	プレゼン資料作成			実習（制作）						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
作品完成度30%、提出物20%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：3年								



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Linux			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	渡辺 雄太		実務授業の有無	有						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	48	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	△		○		
授業概要、目的、授業の進め方	インターネット上のサーバOSとして多くのシェアを占めるLinuxのインストールと動作環境構築、ならびに各種サービスのインストールと運用方法を基本から学びます。Linuxサーバのオペレーションに必要な各種コマンドを習得し、WebサーバやDNSサーバ、Mailサーバを自らのコンピュータ上で動作させることで、サーバサイドのテクノロジーに習熟します。									
学習目標 (到達目標)	サーバの構築									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	新しいLINUXの教科書(SBクリエイティブ株式会社)、CENTOSとvirtualbox、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	LINUXを使ってみよう～シェルの便利な機能			指定教科書(P1～P48)、及び追加配布資料						
2	ファイルとディレクトリ～ファイル操作			指定教科書(P49～P89)、及び追加配布資料						
3	探す、調べる～テキストエディタ			指定教科書(P91～P127)、及び追加配布資料						
4	bashの設定～ファイルパーミッションとスーパーユーザ			指定教科書(P129～P165)、及び追加配布資料						
5	プロセスとジョブ～標準出力とパイプライン			指定教科書(P167～P197)、及び追加配布資料						
6	テキスト処理～高度なテキスト処理			指定教科書(P201～P254)、及び追加配布資料						
7	シェルスクリプトを書こう～シェルスクリプトを活用しよう			指定教科書(P257～P334)、及び追加配布資料						
8	アーカイブと圧縮～ソフトウェアパッケージ			指定教科書(P357～P420)、及び追加配布資料						
9	プロキシサーバ制作演習			CENTOSとvirtualbox、及び追加配布資料						
10	WEBサーバ制作演習			CENTOSとvirtualbox、及び追加配布資料						
11	DNSサーバ制作演習			CENTOSとvirtualbox、及び追加配布資料						
12	MAILサーバ制作演習			CENTOSとvirtualbox、及び追加配布資料						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
成果物70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：5年								

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	トレロボ制作 (Python)			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	48	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	△		○		
授業概要、目的、授業の進め方	ハードウェアの制御に必要な論理回路の基礎理論について体系的に学びます。また、ライントレースを行う自動走行ロボットを用いて、学生が自発的に試行錯誤しながら実習課題に取り組むことで、センサーを使った物理実験、計測制御実験、ロボットプログラミングのスキルを身に付け、今後のロボットレース競技会に出場するためのロボット制作を行います。									
学習目標 (到達目標)	ハードウェアを使った制御に必要な基礎知識・技術の習得									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ロボトレース(F0000)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	ロボトレース ハードウェアの仕組み			プリント ハードウェア&ソフトウェア環境						
2	ロボトレース ソフトウェア開発環境の設定			プリント ハードウェア&ソフトウェア環境						
3	ロボトレース モーター制御プログラム			プリント モーター制御						
4	ロボトレース モーター制御プログラム			プリント モーター制御						
5	ロボトレース モーター制御プログラム			プリント モーター制御						
6	ロボトレース 光センサ&コーナーの曲率の関係			プリント 光センサ値と曲率の関係						
7	ロボトレース 光センサ&コーナーの曲率の関係			プリント 光センサ値と曲率の関係						
8	ロボトレース 光センサ&コーナーの曲率の関係			プリント 光センサ値と曲率の関係						
9	ロボトレース 総合 (光センサを使ったモーター制御)			プリント 光センサ値とモーター制御						
10	ロボトレース 総合 (光センサを使ったモーター制御)			プリント 光センサ値とモーター制御						
11	ロボトレース 総合 (光センサを使ったモーター制御)			プリント 光センサ値とモーター制御						
12	ロボトレース 総合 (光センサを使ったモーター制御)			プリント 光センサ値とモーター制御						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
課題評価50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション技法／著作権			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	24	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	<input type="radio"/>				
授業概要、目的、授業の進め方	<p>社会人として必要となるコミュニケーション能力を高めるとともに、ビジネスシーンで相手との関係を良好に保つためのコミュニケーションスキルを身に付けます。また、インターネットやコンピュータを利用して仕事を進める上で避けては通れない著作権の問題について正しい知識を身に付け、自身はもちろん周囲に対してモラルある活動を行うことが目標になります。</p>									
学習目標 (到達目標)	ビジネス著作権検定 BASIC 合格 コミュニケーション技法 3級 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス著作権検定 BASIC 初級 公式テキスト、その他配付資料、コミュニケーション技法									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	著作権とは何か			指定教科書 P1～P6						
2	著作権で保護されるもの			指定教科書 P7～P22						
3	著作権はだれが持つ			指定教科書 P23～P30						
4	著作権の内容			指定教科書 P31～P62						
5	著作権はいつまで保護される			指定教科書 P63～P82						
6	勝手に使える場合がある			指定教科書 P83～P132						
7	脚気に使うとどうなるか			指定教科書 P133～P158						
8	問題答練			プリント						
9	コミュニケーションの重要性			指定教科書 P6 ～ P52						
10	コミュニケーションの手段			指定教科書 P53 ～ P108						
11	自分に合ったコミュニケーション能力を身につけよう			指定教科書 P109 ～ P155						
12	問題答練			プリント						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	就職実務Ⅱ			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	36	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	△		○		
授業概要、目的、授業の進め方	正しい履歴書の書き方、一般常識やSPI試験などの筆記試験対策、面接試験練習等を行います。筆記試験対策では、個人の能力に合わせてステップアップ方式で理解しながら進めていきます。面接試験対策では、模擬面接を行いながら実践形式とすることで、面接の雰囲気慣れ、考えていることを的確に言葉で表現できるようにしていきます。									
学習目標 (到達目標)	就職活動をしていく上で必要な知識、マナーを身につけ、就職試験を突破することを目指す。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイドSuccess（ウイネット）、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	志望動機			指定教科書P30～P35						
2	企業研究の方法			指定教科書P38～P51						
3	作成書類			指定教科書P52～P58						
4	企業訪問			指定教科書P59～P65						
5	就職試験のマナー			指定教科書P66～P69						
6	面接試験対策			指定教科書P70～P81						
7	筆記試験対策			指定教科書P82～P89						
8	受験後の報告			指定教科書P90～P93						
9	ビジネス文書の書き方			配布プリント						
10	筆記試験対策			配布プリント						
11	面接試験練習			模擬面接演習						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
提出物・演習50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				「就職実務Ⅰ」を履修していること						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	ベンダー試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	81	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	国際的なIT関連資格・認定団体であるCompTIAの試験取得を目標とする対策授業です。出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。									
学習目標 (到達目標)	CompTIA Security+の合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Security+ セキュリティ社会の必修科目 (ウチダ人材開発センタ)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	情報セキュリティの概要			指定教科書P1～P11						
2	暗号技術			指定教科書P13～P52						
3	ネットワークと認証の基礎			指定教科書P53～P94						
4	多様なネットワーク技術とセキュリティ			指定教科書P95～P137						
5	攻撃者の概要			指定教科書P139～P180						
6	情報セキュリティポリシーと脆弱性検査			指定教科書P181～P206						
7	認証技術			指定教科書P207～P243						
8	アクセス制御と強化、環境整備、物理セキュリティ			指定教科書P245～P279						
9	無線LAN、モバイル機器、テレワーキングとSNS、仮想化技術			指定教科書P281～P305						
10	モニタリング、ログ、フォレンジックス、冗長構成、事業継続性計画			指定教科書P307～P338						
11	模擬試験①			第1回模擬試験の実施						
12	模擬試験②			第2回模擬試験の実施						
13	模擬試験③			第3回模擬試験の実施						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	秋期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	<input type="radio"/>				
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。									
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	情報セキュリティ			指定教科書P2～P30						
2	ハードウェア			指定教科書P36～P46						
3	ソフトウェア			指定教科書P50～P62						
4	データベース			指定教科書P68～P80						
5	ネットワーク			指定教科書P86～P98						
6	ソフトウェア設計			指定教科書P102～P118						
7	マネジメント			指定教科書P124～P138						
8	ストラテジ			指定教科書P144～P156						
9	データ構造及びアルゴリズム			指定教科書P160～P198						
10	ソフトウェア開発(表計算)			指定教科書P284～P303						
11	模擬試験①			第1回模擬試験の実施						
12	模擬試験②			第2回模擬試験の実施						
13	模擬試験③			第3回模擬試験の実施						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Oracle DBA (データサイエンス)			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	54	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	△		○		
授業概要、目的、授業の進め方	商用データベース製品として多くのシェアを占めるOracle Databaseのインストールと動作環境構築、ならびに運用・保守・カスタマイズの技法を習得します。サーバエンジニアに必須となるデータベース構築に練達することで、エンジニアとしての幅を一段と広げます。併せて、Oracle認定試験であるORACLE MASTER Bronze DBAの合格を目指します。									
学習目標 (到達目標)	ORACLE MASTER Bronze DBAの合格。 Oracleデータベースの運用・保守技法の習得。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	DBA Bronze必修教本 (ASCII)、DBA Bronze問題集 (ASCII)									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	Oracleデータベース管理の概要			指定教科書P23～P36						
2	インストールおよびデータベースの作成			指定教科書P39～P66						
3	SQL * Plusの使用			指定教科書P69～P92						
4	Oracleネットワーク環境の構成			指定教科書P95～P132						
5	Oracleインスタンスの管理			指定教科書P135～P171						
6	記憶領域構造の管理			指定教科書P175～P213						
7	セキュリティの管理			指定教科書P215～P256						
8	スキーマ・オブジェクトの管理			指定教科書P259～P293						
9	バックアップ・リカバリの実行			指定教科書P295～P345						
10	データベースの監視およびアドバイザの使用			指定教科書P349～P370						
11	問題集			指定教科書P25～P410						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
試験結果 + 課題 + 期末課題70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	卒業制作			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	渡辺 雄太		実務授業の有無	有						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	56	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期			○		
授業概要、目的、授業の進め方	<p>在学中に習得した技能を駆使して、アプリケーション制作を個人、またはグループで行うことで、アプリケーション開発における総合的なスキルを修得します。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインターフェースなどのアプリケーション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、外部への情報公開とその評価までを行うと同時に、魅力あるプレゼンテーションの手法も学びます。</p>									
学習目標 (到達目標)	オリジナルアプリケーションの完成									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	テーマ選定・企画作成			教員作成資料						
2	企画プレゼンテーション			教員によるフィードバック						
3	α版制作			学生個人PCでの作業						
4	α版制作			学生個人PCでの作業						
5	中間プレゼンテーション			教員によるフィードバック						
6	β版制作			学生個人PCでの作業						
7	中間プレゼンテーション			教員によるフィードバック						
8	完成版制作			学生個人PCでの作業						
9	最終プレゼンテーション			教員によるフィードバック						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
<p>作品完成度70%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。</p>				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：5年								



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	ビジネスマナー			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	27	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	卒業後は社会人として、年齢、考え方、立場の違う様々な人々と関わりながら、意思疎通を図り、協力しながら仕事をすることが求められます。 この授業では、すべての職場・職種で共通して求められる「社会人として働くマナーやルール」を知り、その習得を目指します。									
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション力を向上し、社会人として円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることが出来るようになる。基本的なマナーを体得し、社会人としての立ち振る舞いが出来るようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	社会人常識マナー検定テキスト 2・3級、その他配付資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	ビジネス計算			指定教科書P1～P13						
2	ビジネスコミュニケーション			指定教科書P14～P17						
3	社会人にふさわしい言葉遣い			指定教科書P18～P26						
4	ビジネス文書の活用			指定教科書P27～P29						
5	職場のマナー			指定教科書P30～P35						
6	来客対応			指定教科書P36～P37						
7	電話対応			指定教科書P38～P51						
8	交際業務			指定教科書P52～P58						
9	文書類の受け取りと発送			指定教科書P59～P65						
10	会議			指定教科書P66～P69						
11	ファイリング			指定教科書P70～P81						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
提出物・演習50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	自然科学概論			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	小田 尚智		実務授業の有無	無						
対象学科	AIシステム科2年制			単位時間数	27	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業概要、目的、授業の進め方	我々の日常生活を科学的な視点でみていくことで、一般常識としての知識だけでなく、様々な視点から物事を客観的にみる力を養います。また、質問形式で授業を行うことで、自分の意見をまとめ、人に伝える力を身につけます。									
学習目標 (到達目標)	様々なことに関心を持ち、新たに学んだことについて、自分の理解や意見を述べるができる。 科学的な考え方にもとづいて問題を分析できる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	自然科学について			配布資料						
2	自然科学の分類			配布資料						
3	自然科学の基礎			配布資料						
4	自然科学の応用			配布資料						
5	身の回りにおける自然科学			配布資料						
6	課題によるレポート作成			レポート提出						
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
レポート提出40%、出席率30%、授業態度・学習意欲30% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴										